

平塚事案に係る環境調査のこれまでの経緯について

平成16年

1月上旬 環境調査について住民に広報（平塚市広報1月号、市窓口等における広報紙の配布）

1月13日 以下の環境調査を開始（別紙1参照）。

①調査項目

環境大気調査、水平物理探査、表層ガス調査、地下水調査

②調査場所

平塚市美術館、平塚市駐車場、神奈川県合同庁舎別館駐車場、
化学実験部跡地付近の井戸1カ所（地下水調査）

3月10日 環境大気調査、表層ガス調査の分析の結果、毒ガス成分不検出。

3月22日 地下水調査の結果、0.001mg/lのジフェニルアルシン酸を検出（別紙2参照）。

調査結果を県・市に連絡するとともに、公表。

地下水の汚染の可能性のある範囲を森田座長、横山委員と相談した上で、ホームページへの掲載により当該範囲内における飲用中止指導を開始（翌日から戸別説明も開始）。

3月23日 飲用に利用している井戸のうち上水道への転換が困難な井戸（33カ所）について、緊急的に井戸水の採水を開始

3月25日 井戸水の採水終了（33カ所）

3月31日 33カ所の井戸水のうち31カ所についての分析の結果、全てについてジフェニルアルシン酸は不検出（残り2カ所分については分析中）。

なお、現時点で、飲用中止指導範囲内に井戸は926カ所あり、そのうち180カ所が飲用井戸として把握しており、そのうち上水道への転換が困難な井戸は31カ所（3月23日時点で上水道への転換が困難だった33カ所のうち、2カ所はこれまでに上水道への転換のための工事を実施済み。これら2カ所はいずれもジフェニルアルシン酸が不検出の井戸。）。